

第 11 回 国際薬物動態学会にてポスター発表

2016 年 6 月 12 日から 16 日に韓国・釜山の Busan Exhibition and Convention Center にて開催された The 11th International ISSX Meeting に参加しました。本学会では薬物動態研究に取り組む研究者達が集い、世界中の企業、大学の研究成果を知ることができました。

私は 6 月 15 日に「体内動態および抗低体温作用改善を指向した新規生姜抽出物製剤」という演題でポスター発表を行ってきました。本研究は、水に溶けにくい生姜抽出物に水溶性を向上する製剤技術を適用することで、溶解性改善に伴う生姜抽出物の経口吸収性および機能性向上を目的として行いました。

様々な国の研究者の方とディスカッションを通し、多くの意見を聞くことで自分自身の研究についてより深く考える良い機会となり、薬物動態の専門家と英語で議論するという大変貴重な経験を積むことができました。その一方で、より活発に議論を行うためには英語スキルの更なる向上が必要であると痛感しました。

今までと雰囲気も規模も全く違う学会であり緊張もしましたが、自分の伝えたいことを英語で伝える難しさと重要性を身をもって体感することができ、このような発表の機会をいただいたことに心から感謝いたします。



薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻 薬物動態学教室
博士前期課程 1 年 荻野 水紀